

リーディングDXスクール事業【実践事例】

熊本市立城東小学校

【取組内容①】 チャット機能を活用し、互いの気づきや学びを広げる工夫

3年国語「『ほけんだより』を読みくらべよう」

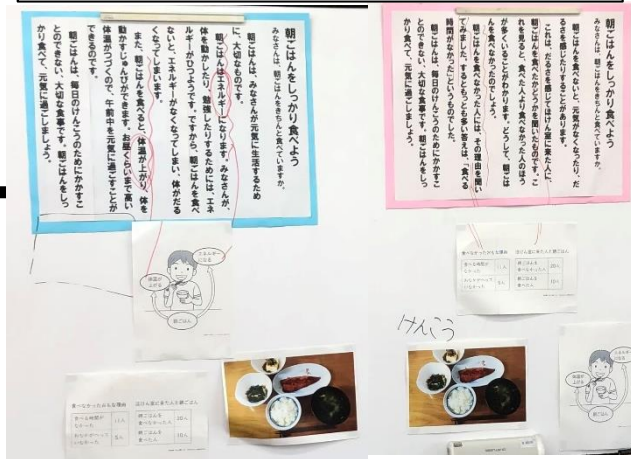
三つの資料から文章に合うものを選び、理由を考えることで、文章と資料の関係を読み取ることができる。

1 課題をつかむ。



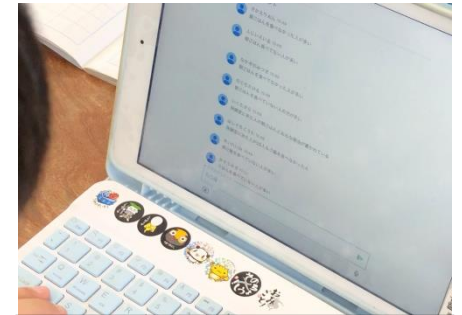
教師が準備したモデル文（学級通信）と三つの資料を提示し、どの資料が効果的かを考える。この活動を通して課題意識（文章をよりよく伝える資料があるのでは？）を持つ。

2 文章がよりよく伝わる資料を選ぶ。



二つの保健だより（ブルー・ピンク）を提示。ブルー組とピンク組に分かれ、文章がよりよく伝わる資料（写真・図・表）を選ぶ。

3 資料を選び、話し合う。



すぐに資料を選ぶのではなく、まず、三つの資料について分かったこと、気づいたことを書き込む。

チャット機能を活用し、友達の意見をリアルタイムでみることができるようにした。友達の書き込みに納得したり、それをヒントにして考えたりすることで、個々の気づきを増やすことができた。

次に、これらの気づきと、文章とのつながりを考え、資料を選ぶ活動を行った。

タブレットを使って文章と選んだ資料を示し、「ここに書いてあることが資料で分かる」などつながりを説明する姿が見られた。

二つの文章が伝えたいことや違いなどを、もっと明確にしておくことより効果的だったと考える。

